					-	カチホヽ	11/1/1/1/				
車級	車業々	高額	鈴者も	ュンタ	一維持管理事業					本年度担当課	農山村振興課
事務事業名									前年度担当課	農山村振興課	
	基本目標	01	魅力な	ある	<mark>産業で賑わう活</mark> 力]あるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域	資源で	を活かしたまちつ	づくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化			특	事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01	特色	ある「	中山間地域づくり	りの推進		美	業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	[2	ᆇ	実施方法	一部委託
科目	一般	06	01	02	高齢者センター	維持管理事業		5	分	事業分類	施設維持管理事業
東紫江南									市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成元年度 ~										総合戦略	該当なし
根拠》	去令・条件	列等	佐里	市農	株漁家高齢者セ	ンター条例、位	生野市農林漁家高齢者セ	ンター	条	例施行規 <u>則</u>	

1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
	·	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	~ -	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u> </u>				
	f	農林業地域における高齢者人口に対応し、農林	・利用申請受付、利用許可書発行、使用料徴収										
		業地域の特性を生かした高齢者の生きがい対策の	・施設維持管理(仙波地区むらづくり推進委員会へ管理業務委託)										
		実現を図り、もって、地域的連帯感の高揚と本市	・施設の点検及び修繕										
		農林業の振興に寄与するため、佐野市農林漁家高	・光熱水費の支払い及び消耗品の購入										
		齢者センターを設置する。											
						DO左击	DA左击	DC左击	DC左击	D7左击			
		所 在 地:佐野市仙波町2445番地1 延床面積:413.98㎡ 建築面積:460.49㎡	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
		延休回復:413.9011 建采回復:400.4911	 利用許可証の発行件数		件	34	29	30	30	30			
			修繕箇所数		<u></u> 箇所	4	0	1	1	1			
		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
		①中山間地域	対象指標	単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度				
		②市外在住者				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			管理する施設数	施設	1	1	1	1					
			営業する団体数		団体	1	I	I	1				
E		③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> ・ <u> </u>)									
台	⟨I⊢	① 思想 (この事務事業にようで、対象をこのような ① 地域や地域の人々と多様に関わることで中山間											
		地域が活性化される。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			営業日数	В	目標	120	100	100	100	100			
				П	実績	97	94						
			来客数	人	目標	7, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000			
		け田 / l'のしこれが田に <i>は</i> ずっけまましの)			実績	4, 120	4, 775						
16	~ -	結果(どのような結果に結びつけますか?) 中山間地域が活性化される。											
		中山間地域が活性化される	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			農産物直売所・農村レ	~ =	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800			
			ストラン売上高	千円	実績	46, 464		-, -, -, -,	-, -, -, -	,			
					目標								
					実績								
	(2	シ) 終事業費の推移・内部											

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度((実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		918		1, 110		0		0		0
		一般財源	千円		726		440		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		1, 644		1, 550		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	;				需用費	1, 103						
入	貝					委託料	364						
量						役務費	58						
		事業費の 内訳	千円			使用料及び賃借	料 24						
		内訳											
	7	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		8, 971		8, 837		0		0		0

事務事業名	高齢者センター維持管理事業	本年度担当課	農山村振興課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成元年から地元産の特産物の提供、農産物の加工販売、地元の農林業と地域活性化を図る目的で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	農林漁家高齢者センターで提供する仙波のそばのメニューが、佐野ブランド認証品となっている。しかしながら仙波そば加工販売部会では、高齢化による人員不足(後継者の育成と新規加入者の確保)が課題となっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	仙波そば加工販売部会長からレストラン閉店の意向が示され、令和4年12月までで一旦 営業を終了した。その後、部会員により再開の意向が示され、令和5年3月から営業を再開 した。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争切争未以争及叶叫【UICUN】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地 	がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
営業日数、来客数とも、コロナの	影響及び1月・2月のレストラン	通年営業を継続できるよう、レス	トランの運営団体に対し必要な支
休業により、目標達成には至らな	:かった。	援を行うとともに、誘客を促すイ	ベント等を実施する。

_`	J. p			7 友 リノノリト	IT TWO CLOUD	
	(1)事務	事業の評価	西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
; J	票 中			0		
J	美 小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					· ·	123 3 2 2 1 V							
中 3公	市安力	菜蟲	全館組	持管	理事業					本年度担当課	農山村振興課		
事務事業名										前年度担当課 農山村振興課			
	基本目標	01 5	魅力を	ある。	産業で賑わう活力]あるまちづく	IJ		新規・継続	継続事業			
政策	政策	02 J	也域資	資源?	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	03 1	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補	助 市単独事業		
	基本事業	01 4	特色 を	ある「	中山間地域づくり)の推進			業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託		
科目	一般	06	01	02	菜蟲館維持管理	事業			分	事業分類	施設維持管理事業		
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成14年度 ~									市長公約	該当なし		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成14年度 ~										総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 佐野市菜蟲館条例、佐野市菜蟲館条例施行規則												

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
$ \mathbb{1}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	山村地域の特性を活かした農林産物の付加価値	・利用申請受付、利用許可書発行、使用料徴収										
	を高めることによって、地域農林産物の消費拡大	・施設維持管理(光熱水費の支払い及び消耗品の購入)										
	と農林業の振興を図るとともに、生産者と消費者	・施設の点検及び修繕										
	との交流を促進し、地域農林業の活性化に寄与す	・敷地内除草(委託契約	勺)									
	るため、佐野市菜蟲館を設置する。											
	むらづくり団体の活動休止により平成27年4月	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度			
	以降休館中。	12-072		. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		利用許可書の発行件数		件	12	8	10	10	10			
	所 在 地:佐野市柿平町473番地1	修繕箇所数		箇所_	0	0	1	1	1			
	延床面積: 357. 73㎡ 建築面積 425. 01㎡	敷地内草刈等作業回数		回	2	2	2	2	2			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)										
	①中山間地域	対象指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度			
	②市外在住者				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		管理する施設数		施設	I	1	1	<u> </u>	<u> </u>			
		営業する団体数		団体	0	0	0	0	0			
目	○ 全回 / = ○ 主攻古米に し マー共存 たじの しこむ											
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	,									
	①地域や地域の人々と多様に関わることで中山間	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	地域が活性化される。	営業日数		- HE	0	0	0	0	0			
		呂未口奴 	日	目標 実績	0	0	U	- 0				
		 来客数		日標	0	0	0	0	0			
		* 	人	実績	0	0	-	- 0				
<u>(4</u>	 結果(どのような結果に結びつけますか?)		l	人们只								
	中山間地域が活性化される				D0 5-2		D= 4-3					
	T AIRFORN THE BETTO	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		農産物直売所・農村レ	- m	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800			
		ストラン売上額	千円	実績	46, 464	76, 242						
				目標								
				実績								
	の)											

		財源内訳	単位	R3年度(美	€績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度(F	目標)	R7年度([目標]
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		79		79		0		0		0
		一般財源	千円		697		738		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		776		817		0	0			0
	尹			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
挼	りまり	事業費の				需用費	498						
J	、同					委託料	290						
量	1					役務費	29						
		中来員の内訳	千円										
		אמניו											
	人件	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		8, 103		8, 104		0		0		0

事務事業名	菜蟲館維持管理事業	本年度担当課	農山村振興課
尹衍尹禾石		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成14年から地元産の特産物の提供、農産物の加工販売、地元の農林業と地域の活性化を図る目的で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	むらづくり団体の活動休止により平成27年4月以降休館中。個人等によるみそ加工利用 が若干ある。
事務事業の開始時期と比べてどのように	7 1 1 6 ¢°
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない		

		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
営業日数・来客数とも、むらづくり団体が活動再開しておらず達成	むらづくり団体の活動再開の動き	があった際には、行政として可能
できなかった。	な支援を行う。	

_`											
	(1)事務署	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策					
	大				現状維持(従来通り実施)						
I	▮				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
i F	票 中										
J.	生			0							
		大	中	小							
		成果向上余地									

						カチホヽ	1777				
車数	事業名	佐野市そばまつり開催支援事業						本年度担当課	農山村振興課		
争狄	尹未石									前年度担当課 農山村振興課	
	基本目標	01	魅力	ある。	産業で賑わう活力]あるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域	資源?	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	01 特色ある中山間地域づくりの推進						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	06	01	03	佐野市そばまつ	り開催支援事業	<u></u>		分	事業分類	支援事業
車:	東紫紅南 光左连绵八连 東紫如明 亚代10左连 <u>秦和</u> 4左连							市長公約	該当なし		
尹之	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成18年度 ~ 令和4年度 11度名前 12月 12										
根拠	法令・条	例等	佐里	市で	ばまつり開催支	援事業交付金3	交付要領				

1. 事務事業の現状把握【DO】

-	١.	事務事業の現状把握【DO】								
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
		本市は県内有数のそばの生産地であることから特にそば生産の盛んな中山間地域の活性化を図るため、むらづくり団体等による「そばまつり」を開催する。(佐野市むらづくり推進協議会へ交付金を交付する。)	(市の活動)協議会事系 年度からスタンプラリー (協議会の活動) そばる 和5年度からはスタン	−方式~ まつり[へ変更 開催の	して開催 検討会を	する準備 行い、今	を開始し 年度の中	た。 止を決定	した。令
			140 120 3100 772		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
		※ 佐野市むらづくり推進協議会は、中山間地域で活動するむらづくり団体や、農産物直売所等で	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		構成され、情報交換・連携により地域活性化を図	出店団体数		団体	0	0	_	_	_
		ることを目的としている。	開催日数		日	0	0	_	_	-
L	4									
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)							
		①中山間地域 ②市外在住者	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			むらづくり団体数		団体	8	8	_	_	_
I	⋾ ├	○立□ /= ○主水主米に 								
	۸L	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	,						
		①地域や地域の人々と多様に関わることで中山間 地域が活性化される。	成果指標	単位	\vee	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			食券販売数	食	目標					
			+ 1 A 65		実績	_	_			
			売上金額	円	目標実績					
/	7) š	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			天祖		_			
ľ		品未(とのような船未に船のづけますが:/ 中山間地域が活性化される		Г						
		中山间地域が沿江にこれる	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			農産物直売所・農村レ	千円	目標	-	97, 800	_	_	_
			ストラン売上高	T13	実績	46, 464	76, 242			
					目標					
					実績					
	(-	り) 終事業費の推移・内記								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	1	0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円	0			0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝	事業費の											
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

ſ	事務事業名	佐野市そばまつり開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
	尹份尹未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成18年度から中山間地域の振興策の一事業として始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	近隣市はイベント開催を止め、スタンプラリー等に切り替えている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	令和4年度の開催について実施主体の協議会内で協議した結果、中止した。協議の中でコロナの影響のほか各団体の人員不足の状況が浮き彫りになり、次年度以後のイベントの実施内容等について検討の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	令和4年度はイベントを中止したが、令和5年度以後のイベントの実施内容について協議
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	会の構成団体の代表者で協議し、スタンプラリー方式に改める方針とした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

E. テリテスマテス計画 Tolloon J							
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	どまんなかフェスタ	成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
新型コロナウィルス感染症拡大防	止したため。	成果向上余地がない					
⑩A表の成果指標の目標が達成	必要となる取組内容						
そばまつりを中止したため、食	そばまつりを中止したため、食券販売・売上金額とも実績を出せ 開催方法をスタンプラリー方式						

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			
そばまつりを中止したため、食券販売・売上金額とも実績を出せ	開催方法をスタンプラリー方式に変更し、農村レストランをはじ			
なかった。	めとする中山間地域への誘客を促す。			

	(1)事務事業の評価結果				(2)今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
目	-				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中				佐野市むらづくり推進協議会で協議を行い、そばまつりに代え、令和5年度からそばスタンプラリーの開催を決定した。	
度	-			0		
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	カチホヽ	11 / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
事務事業名 作原地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業								本年度担当課	農山村振興課	
丁 /3	争務争未名									農山村振興課
	基本目標	01	魅力	ある。	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ		新規·継続	継続事業
政策	政策	02	地域	資源?	を活かしたまちて	づくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化	事		市単独・国県補J	市単独事業	
	基本事業	01	01 特色ある中山間地域づくりの推進						任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	06	01	03	作原地区むらづ	くり推進協議会	会イベント開催支援事業	分	事業分類	支援事業
車	業計画		出	- 年	繰り返し	事業期間	 平成元年度 ~		市長公約	該当なし
尹	未可凹		早	十段	.秣り返し		総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等	佐里	予市も	らづくり団体イ	ベント開催支持	援事業費補助金交付要領			

1. 事務事業の現状把握【DO】

	事物事未り坑仏に住 LDO』										
<u> </u>	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標										
$ \mathbb{1}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)			
	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動	(市の活動)									
	するむらづくり団体が実施する地域の特色を活か	祭り・イベント等が中	中止とな	よった	ため補助:	金を交付	を交付できなかった。				
	した祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成										
	する。	(作原地区むらづくり丼									
	※ 作原地区むらづくり推進協議会は、作原地区	蓬山春まつり(4月)	、蓬山村	火まつ	り(10月)	につい	ては、コ	ロナ対応	により中		
	の地域活性化のため、蓬山まつりを春と秋に実施	止となった。			D0 /	D4 += -		D0 + +	D7 /- /-		
	している。	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度		
		イベント等実施回数			<u>(実績)</u> ()	<u>(実績)</u> ()	(目標) 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2		
		1・ソド 守天旭回数		Щ	U	U					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か?)									
	作原地区むらづくり推進協議会		П	*** / 1	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	(補助対象団体の活動)	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
	地区のお祭りやイベント、公共活動などの事業	イベント等事業費		円	0		140, 000		140, 000		
		むらづくり推進事業費		千円	13, 778	21, 821					
目											
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)								
H 2	むらづくり団体の活動を活性化させる。 	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		農産物直売所・農村レ	- m	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
		ストラン売上高	千円	実績	46, 464	76, 242		ŕ	,		
				目標							
				実績							
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)										
	中山間地域が活性化される。 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		農産物直売所・農村レ	千円	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
		ストラン売上高	ΤΠ	実績	46, 464	76, 242					
				目標							
				実績							
,	o \										

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0	0		0		0			0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他 千円			0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0	0		0		0		0	
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業	事業費の											
入													
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		14, 654	•	14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

事務事業名	作原地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
尹份尹未位		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	主に昭和62年から63年にかけて、中山間地域振興を目的とする各地区むらづくり団体の発足に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相条に対する数十 家	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上の余	成果向上余地がない		
			N = 1 + 7 = 10 + -

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所・	コロナが5類に移行されたが、感染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	意しながら、イベントの再開を目指す。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	カチホヽ					
車型	女車 娄夕	下	き間 地	也区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業					本年度担当課	農山村振興課	
争的	事務事業名								前年度担当課 農山村振興課		
	基本目標	01	魅力	あるヹ	<mark>産業で賑わう活</mark> 力	りあるまちづく	IJ		新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	地域	資源で	を活かしたまちて	づくり			実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化	=			市単独・国県補助	市単独事業	
	基本事業	01 特色ある中山間地域づくりの推進						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	区	実施方法	直営	
科目	一般	06	01	03	下彦間地区むら	づくり推進協調	義会イベント開催支援事業	分	事業分類	支援事業	
車	業計画		出	ケー	繰り返し	事業期間	昭和62年度 ~		市長公約	該当なし	
尹	未計凹		早	十段	旅り巡し		総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等	佐里	予市も	らづくり団体イ	ベント開催支担	援事業費補助金交付要領				

1. 事務事業の現状把握【DO】

	争務争耒の現仏把握【Ⅶ】										
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)			
	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動	(市の活動)									
	するむらづくり団体が実施する地域の特色を活か	祭り・イベント等が中	中止とフ	なった	ため補助金を交付できなかった。						
	した祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成	(
	する。 ツーエ奔眼地区からベノリザ准物議会は「下奔眼」	(下彦間地区むらづくり推進協議会の活動)									
	※ 下彦間地区むらづくり推進協議会は、下彦間 地区の地域活性化のため、憩い館感謝祭、ホタル	憩い館感謝祭 (4月)、ホタル祭り (6月)、新そば祭り (11月) については、 ロナ対応により中止となった。									
	地区の地域沿住化のため、悪い暗感謝泉、パメル 祭り、新そばまつり等を実施している。		+) / = c		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		イベント等実施回数		□	0	0	3	3	3		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)									
	下彦間地区むらづくり推進協議会	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度			
	│(補助対象団体の活動) │ 地区のお祭りやイベント、公共活動などの事業	イベント等事業費	円	<u>(実績)</u> 0	(実績)	<u>(目標)</u> 140,000	<u>(目標)</u> 140,000	<u>(目標)</u> 140,000			
	地区のの余りやイベント、公共活動などの事業 	イベント寺事未貢 むらづくり推進事業費		円	10. 488	8. 009	140, 000	140, 000	140, 000		
_		もりラくが推進事業員			10, 400	0, 003					
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	·)								
的	むらづくり団体の活動を活性化させる。			T /	DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC 4T E	D7左曲		
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		農産物直売所・農村レ	千円	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
		ストラン売上高	113	実績	46, 464	76, 242					
				目標実績							
a	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			天視							
4	中山間地域が活性化される。										
	十四川地域が旧田して作る。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		農産物直売所・農村レ	~ m	目標		97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
		ストラン売上高	千円	実績	46, 464	76, 242		,	,		
				目標							
				実績							
(2) 松東業费の堆段・内記										

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	1	0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝												
量		事業費の											
			千円										
		内訳											
						•••••							
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

事務事業名	下彦間地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
争伤争未 有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	主に昭和62年から63年にかけて、中山間地域振興を目的とする各地区むらづくり団体の発足に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于切于木V于区时间 [0100K]			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上の余	地がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない

⑩ A 表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所・	コロナが5類に移行されたが、感染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	意しながら、イベントの再開を目指す。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車茲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	飛馬	駒地区	ヹむら	っづくり推進協議	会イベント開催	崔支援事業		本年度担当課	農山村振興課			
争的	争未有								前年度担当課	農山村振興課			
	基本目標	01	魅力な	ある。	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ		新規・継続	継続事業			
政策	政策 政 策 02 地域資源を活かしたまちて				を活かしたまちて	くり			実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化			事	市単独・国県補助	市単独事業			
	基本事業	□事業 01 特色ある中山間地域づくりの推進						業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営			
科目	一般	06	01	03	飛駒地区むらづ	くり推進協議会	会イベント開催支援事業	分	事業分類	支援事業			
車:	業計画	単年度繰り返し 事業期間 昭和63年度 ~					四和公左床		市長公約	該当なし			
尹:	未引四						哈和03年度 ~		総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条件	列等	佐里	予市も	よらづくり団体イ	ベント開催支持	援事業費補助金交付要領		_				

1. 事務事業の現状把握【DO】

٦	١.	事務事業の現状把握【DU】										
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標										
	<u>1)</u> ≢	段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	[事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>			
		中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動	(市の活動)									
		するむらづくり団体が実施する地域の特色を活か	祭り・イベント等が中	できなか	った。							
		した祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成										
		する。 ***	(飛駒地区むらづくり推進協議会の活動) 鯉来まつり(5月)、根古屋森林公園まつり(11月)については、コロナダ									
		※ 飛駒地区むらづくり推進協議会は、飛駒地区		艮 古	森林公	회まつり	(11月)	について	は、コロ	ナ対心に		
		の地域活性化のため、鯉来まつり、根古屋森林公 園まつりを実施している。	より中止となった。			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	1	園まりがを実施している。	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
			イベント等実施回数			0	0	2	2	2		
						-	_	_	_			
		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)									
	Ŧ	飛駒地区むらづくり推進協議会	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度			
		(補助対象団体の活動)	. 55575240		(実績)	(実績)		(目標)	(目標)			
		地区のお祭りやイベント、公共活動などの事業	イベント等事業費	円	0		140, 000	140, 000	140, 000			
			むらづくり推進事業費		円	56, 500	31, 308					
E		③意図(この事務事業によって、対象をどのよ う な	 ・	<u> </u>								
白		∃忌凶(この事務事業にようと、対象をこのような むらづくり団体の活動を活性化させる。	·(人思にしたいのですが:		T /							
	۱	ひりつくり四体の治動を治圧化させる。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
			農産物直売所・農村レ	千円	目標	-	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
			ストラン売上高	十円	実績	46, 464	76, 242					
					目標							
L					実績							
(~ <u></u>	ま果(どのような結果に結びつけますか?)		1								
	1	中山間地域が活性化される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
			農産物直売所・農村レ	千円	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800		
			ストラン売上高	ΤΠ	実績	46, 464	76, 242					
					目標							
					実績							
	, _	、 松市世帯の世段 「中三□										

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝												
量		古光串の											
		事業費の	千円			•••••							
		内訳											
				•••••		•••••							
	人	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

事務事業名	飛駒地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
尹衍尹未 石		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	主に昭和62年から62年にかけて、中山間地域振興を目的とする各地区むらづくり団体の発足に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O						
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外					
- 1							

2. 事務事業の事後評価【Check】

1 10 1 Flats 1 Martin Estates								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
前年度評価結果が「成果向上の余		成果向上余地がない						
@ · + - + E + E - E E (V) + +			v = 1 & 2 = 40 + +					

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所・	コロナが5類に移行されたが、感染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	意しながら、イベントの再開を目指す。

_`	J. p										
	(1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策					
	大	大			現状維持(従来通り実施)						
ı	■ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
ì	票 中			0							
J	变 小										
		大	中	小							
		成	果向上余	地							

車級	z 車 柴 夕	秋I	山の里	1協請	養会イベント開催					本年度担当課	農山村振興課
争仍	事務事業名							前年度担当課	農山村振興課		
	基本目標	01	魅力な	ある。	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域	資源:	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補助	」 国県補助事業
	基本事業	基本事業 01 特色ある中山間地域づくりの推進							業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	06	01	03	秋山の里協議会	イベント開催す	5援事業		分	事業分類	支援事業
車:	事業計画単年度のみ				· 申の 2:	事業期間 昭和62年度 ~				市長公約	該当なし
事業計画 単年度のみ 事業期間 昭和62年度・					哈和02千度 ~			総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 佐野市むらづくり団体イベント開催支援事業費補助金交付要領										

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
<u> </u>	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
$ \mathbb{1}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動	(市の活動)							
	するむらづくり団体が実施する地域の特色を活か	祭り・イベント等が中	中止とな	なった	ため、補具	助金を交ん	付できな	かった。	
	した祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成								
	する。	(秋山の里協議会の活動							
	※ 秋山の里協議会は、秋山地区の地域活性化の	あきやま学寮(体験館			する、ゆ	とりの文	化展(10	月)につ	いてはコ
	ため、ゆとりの文化展を実施している。	ロナ対策により中止とな	よった。	,	D0 /	D4 += -		D0 + +	D7 /- /-
		活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度
		イベント等実施回数			<u>(実績)</u> ()	<u>(実績)</u> ()	(目標)	<u>(目標)</u> 1	<u>(目標)</u> 1
		コンプト・サ天旭回数		ш	U	U	I	I	
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	秋山の里協議会			*** / 1	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	(補助対象団体の活動)	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	地区のお祭りやイベント、公共活動などの事業	イベント等事業費		円	0		140, 000		140, 000
		むらづくり推進事業費		円	0	0			
目									
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
H 3	むらづくり団体の活動を活性化させる。	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		農産物直売所・農村レ		目標		97, 800	98, 800	00 000	100, 800
		辰座物画元別・辰刊 レ ストラン売上高	千円	実績	46, 464	76, 242	90, 000	99, 600	100, 600
		ハーノノルエ回		目標	70, 704	10, 272			
				実績					
4	- 結果(どのような結果に結びつけますか?)			, , , , , ,					
	中山間地域が活性化される。	1. 八十 田 七 捷	** /*		D2左座	D4年度	DE左座	DC左座	D7左座
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		農産物直売所・農村レ	千円	目標		97, 800	98, 800	99, 800	100, 800
		ストラン売上高	111	実績	46, 464	76, 242			
				目標					
				実績					
,	の)処吏業弗の推移。由記								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	1	0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	事業費の 内訳											
入	貝												
量													
			千円										
						•••••							
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

事務事業名	秋山の里協議会イベント開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
争伤争未 有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	主に昭和62年から63年にかけて、中山間地域振興を目的とする各地区むらづくり団体の発足に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及の計画相次に対する数十一数百の状態							
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
	成果向上余地がない	取組むことができなかった					
前年度評価が「成果向上の余地がない」のため取組実績なし							
	市でなければできない 類似事務事業の名称 ⑧取組結果の理由	市でなければできない 妥当である 類似事務事業の名称 ⑥成果向上余地前年度評価結果 成果向上余地がない					

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所	・ コロナが5類に移行されたが、感染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	意しながら、イベントの再開を目指す。

_`	7. 計価相乗の総括と「後のの同注「Motion」										
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策					
	大				現状維持(従来通り実施)						
	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
3	票 建 中 或			0							
J	美 小										
		大	中	小							
		成	果向上余	地							

車数	加波地区むらづくり推進委員会イベント開催支援事業								本年度担当課	農山村振興課	
尹衍争未位							前年度担当課	農山村振興課			
	基本目標	01	魅力	ある。	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ		新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	地域	資源	を活かしたまちて	づくり			実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	03	中山	間地均	或の活性化			事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事業	01	特色	ある「	中山間地域づくり	りの推進		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営	
科目	一般	06	01	03	仙波地区むらづ	くり推進委員会	≩イベント開催支援事業	分	事業分類	支援事業	
東番記画 光左连续八万 東番田田 亚代10左连							双式10年度。		市長公約	該当なし	
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成18年度 ~								総合戦略	該当なし	
根拠	法令·条·	例等	佐里	予市も	らづくり団体イ	ベント開催支持	援事業費補助金交付要領				

1. 事務事業の現状把握【DO】

1.	事務事業の現状把握【DO】									
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)		
	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動	(市の活動)								
	するむらづくり団体が実施する地域の特色を活か	仙波地区新そばまつり)の開作	崔に対	し、補助:	金を交付	した。			
	した祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成									
		(仙波地区むらづくり丼				L				
	※ 仙波地区むらづくり推進委員会は、仙波地区	11月13日に仙波地区第 	けそはる	まつり	を開催し	<i>T</i> = 。				
	の地域活性化のため、仙波地区新そばまつりを秋 に実施している。				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	こ夫心している。	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		イベント等実施回数			0	1	1	1	1	
		1 2 1 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			-	-		-		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)								
	仙波地区むらづくり推進委員会	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度		
	(補助対象団体の活動)				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	地区のお祭りやイベント、公共活動などの事業	イベント等事業費		<u>円</u>		,	140, 000	140, 000	140, 000	
		むらづくり推進事業費		円	4, 200	238, 951				
目	 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> 								
的	むらづくり団体の活動を活性化させる。									
	で 5 2 (外国体の治動を治住化できる。	成果指標 	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		農産物直売所・農村レ	千円	目標		97, 800	98, 800	99, 800	100, 800	
		ストラン売上高	117	実績	46, 464	76, 242				
				目標						
	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			実績						
4	福来(とのような福来に結び 50 ますが?) 「中山間地域が活性化される。									
	ТНІЁ№ЖИ′ЛІТЬС1ºФ°	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	,	R6年度	R7年度	
		農産物直売所・農村レ	千円	目標		97, 800	98, 800	99, 800	100, 800	
		ストラン売上高	111	美領	46, 464	76, 242				
				目標						
				実績						
(2) 総事業費の推移・内訳									

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年	度(犭	 [積)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0
		県支出金	千円		0			0		0		0		0
		地方債	千円		0			0		0		0		0
		その他	千円		0		0			0		0		0
		一般財源	千円		0	52			0		0		0	
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円	0				52		0		0		0
		事業費の		項目	事業費	項目		事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
按						負担金、補	助及び	52						
入														
量														
			千円											
		内訳						1						
	싰	職員従事工数 人工		2	2		2		0		0		0	
	骨費	人件費計(B)	千円		14, 654			14, 574		0		0		0
	トーク	タルコスト (A) + (B)	千円		14, 654			14, 626		0		0		0

事務事業名	仙波地区むらづくり推進委員会イベント開催支援事業	本年度担当課	農山村振興課
争伤争未 有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	主に昭和62年から63年にかけて、中山間地域振興を目的とする各地区むらづくり団体の発足に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于切于木砂于区时间【610600】								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がない						
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
前年度評価結果が「成果向上余地がない」のため取組実績なし 成果向上余地								

		/ 以 术门工水记/3 ·6 ·
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所・コロ	ロナが5類に移行されたが、感	染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	しながら、イベントの再開を目	指す。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策		
	大			現状維持(従来通り実施)				
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	中		0					
成	-							
度	度 小 							
		大	中	小				
		成	果向上余	地				

						DTA \	1 7 7 7 7 T				
車数	マ車サク	中口	山間地	地域実	践活動支援事業					本年度担当課	農山村振興課
事物	事務事業名							前年度担当課	農山村振興課		
	基本目標	01 5	魅力を	ある。	産業で賑わう活力]あるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政 策	02	地域	資源で	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補具	助国県補助事業
	基本事業	01 !	持色 ā	ある「	中山間地域づくり)の推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	06	01	03	中山間地域実践	活動支援事業			分	事業分類	支援事業
車:	事类社员 期間限户结数左连 事类期間 亚代20左连 <u><u></u> <u> </u></u>									市長公約	該当なし
尹:	事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成28年度 ~ 令和6年度								総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条件	列等	中山	」間地	域実践活動支援	事業費補助金3	交付要綱				_

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	地理的に不利な条件に加え、農業者の高齢化や	(市の活動)										
	過疎化による地域活動の停滞、集落機能の低下が	事業主体の飛駒地区むらづくり推進協議会へ補助金を交付した。										
	問題となる中山間地域において、中山間地域に人											
	を呼び込むための受け入れ態勢づくりをはじめと	(飛駒地区むらづくり推										
	した中山間地域経済の活性化を図るための地域住	ブルーベリー農場整備	黄(囲し	ハ等の	设置、看	板の作成	等)、農	産物直売	所整備(
	民の自主的な取り組みを支援する。	ベンチの作成等)										
		活動指標			R3年度	R4年度			R7年度			
	事業主体:地域おこし団体(補助上限)60万円			単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		補助金交付の手続き		件	2	I	<u> </u>	I				
		打合せ会議		□	2	2	2	2				
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-tv 0)						[
	311111 II 11111 II 1	<i>N</i> '?)	T		DO左座	D4左座	DE左由	DC左由	D7左车			
	集落・地域住民の組織(事業主体:地域おこし団 体)	対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
	14)	地域おこし団体	組織	<u>(大限)</u> 1	(大限) 1	(日1宗 <i>)</i> 1	(日 <i>1</i> 宗/	(日 <i>1</i> 宗/				
		地域のこの団体	小丘小以	<u>'</u>	'	'	'					
E		・ 状態にしたいのですか?)									
台	中山間地域経済の活性化											
	THE POSSITION OF THE PROPERTY	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		中山間地域の施設利用		目標	112, 000	90, 000	97. 300	104, 600	112, 000			
		者	人	実績	37, 292	57, 506	,	,	,			
				目標	·							
				実績								
(結果(どのような結果に結びつけますか?)											
	中山間地域が活性化される	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		工位成未相保	中世		いい十段							
		農産物直売所・農村レ	千円	目標		97, 800	98, 800	99, 800	100, 800			
		ストラン売上高	111	実績	46, 464	76, 242						
				目標								
				実績								
	の) 松東業弗の推移・中部											

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		496		600		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		496		600		0		0		0
	事業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					負担金、補助	及び 600						
入	貸 												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		1		1		0	0			0
	件	人件費計(B)	千円		7, 327	7, 287		0		0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		7, 823		7, 887	0		0		0	

ſ	事務事業名	中山間地域実践活動支援事業	本年度担当課	農山村振興課
ı	争伤争未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成27年度から、栃木県において中山間地域に人を呼び込むための受け入れ体制づくりを はじめとする中山間地域経済の活性化を図るための地域住民の自主的な取り組みに対する支 爰事業が創設された。							
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	中山間地域の活性化を図るため、地域住民自らが自主的な取り組みを行っていこうという 自助、共助の考えが浸透している。							
事務事業の開始時期と比べてどのように	古明、六明の与れが反应している。							
変化していますか?								
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし							
関係者(市民、議会、事務事業対象者)								
からどのような意見・要望がありますか?								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組									
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外									
- 1											

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【olicon】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない				

前年度評価結果が「成果向上余地かない」のため取組実績なし 	成果向上余地がない
⑩ A 表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ⑪目標達成に向けて	び要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、中山間地域の施コロナの影響は少なからずあると	: 思われるが、中山間地域の活性化
設利用者数の目標達成に至らなかった。 に資する本事業に取り組む団体の	D発掘を行う。

_`	S. Hilmidaxaniolic Alxandria fuoriona													
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策								
	大				現状維持(従来通り実施)									
	■ L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。									
3	票 中			0										
J	女													
		大	中	小										
		成	果向上余	地										

車数	事業名	中	山間地	也域等	菲直接支払交付事	業				本年度担当課	農山村振興課			
事 %	尹未石									前年度担当課	農山村振興課			
	基本目標	01	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり							新規・継続	継続事業			
政策	政策	02	地域	資源	を活かしたまちつ	づくり				実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補助	助 国県補助事業			
	基本事業	事業 01 特色ある中山間地域づくりの推進							業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	06	01	03	中山間地域等直	接支払交付事業	É		分	事業分類	支援事業			
車:	業計画		出	i 年 由	繰り返し	事業期間	亚代10左连			市長公約	該当なし			
一 尹 :	未引四		#	十戊	.深り返し	事業期間 平成12年度 ~				総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等	中山	」間地	地域等直接支払交	付金実施要領								

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	事務事業の現状把握【DO】											
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)										
	中山間地域は、過疎化・高齢化が進む中で、平	・協定に基づく農業生産	産活動る	を行っ	た集落に	対し、交 [・]	付金を支	払った。				
	地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利であ	(令和2年度から第5排)							
	ることから、農業担い手の減少、耕作放棄地の増	梅園町新耕地集落 22,843 m ²										
	加等により、中山間地域のもつ水源涵養、洪水の		梅園町保木沢集落 17,495㎡									
	防止等、多面的機能の低下が懸念されており、農	御神楽町中妻集落 1	3, 357 r	'n								
	業生産活動の維持を図りながら、多面的機能の確											
	保を図る観点から、傾斜等により生産条件が不利	活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度			
	で耕作放棄地の発生の懸念が大きい農振農用地に				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
	おいて、耕作放棄の防止等を内容とする協定に基	要件を満たす農用地の	面積	ha	18. 2	18. 2	18. 2	18. 2	18. 2			
	づき5年以上継続される農業生産活動を行う集落											
	に対し交付金を交付する。											
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	(か?)										
	集落協定により、5年間の農業生産活動を行うこ	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度				
	ととされた農用地			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
	協定を締結した集落	協定した農用地の面積	ha	5. 4	5. 4	5. 4	5. 4	5. 4				
	中妻集落(御神楽町)、新耕地集落、保木沢集											
目	落(以上、梅園町)											
1 的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)										
-	5年間の農業生産活動の継続	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		農業生産活動面積/協		目標	100	100	100	100	100			
		定した農用地の面積	%	実績	100	100	100	100	100			
		足した展用地の面積		目標	100	100						
				実績								
<u> </u>	」 結果(どのような結果に結びつけますか?)			人们								
٦	中山間地域が活性化される		T									
	I HINGWA TITIO CANO	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		農産物直売所・農村レ	700	目標	-	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800			
		ストラン売上高	千円	実績	46, 464	76, 242						
				目標								
				実績								
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											

		財源内訳	単位	R3年度(写	実績)	R 4年	F度(S	実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0	
		県支出金	千円		737		737			0		0		0
		地方債	千円		0			0		0		0		0
		その他	千円		0			0		0		0		0
		一般財源	千円		258			252		0		0		0
	<u> </u>	事業費計(A)	千円		995			989		0		0		0
	事	事業費の		項目	事業費	項	<u> </u>	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					負担金、	補助及び	954						
入	貸					需用費		35						
量														
			千円						•••••					
		内訳						1						
						•								
					1	•		1						
						•							•••••	
	싰	職員従事工数	人工		1			1		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円	7, 327		7, 287		7, 287	0		0		0	
	トータ	タルコスト (A) + (B)	千円		8, 322		8, 276 0		0		0			

車式	務事業名	中山間地域等直接支払交付事業	本年度担当課	農山村振興課
す が	伤争未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	食料・農業・農村基本法(平成11年法律第106号)第35条第2項に基づき、平成12年度に国が中山間地域等直接支払制度を創設した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国	・本事業の対象となる中山間地域は、他の地域に比べ人口減少や高齢化が進行しており、耕
県などの法令等、社会情勢など)は	作放棄地が増加している。耕作放棄地の増加に伴い、中山間地域の農業・農村の持つ水源涵
事務事業の開始時期と比べてどのように	養等の機能が低下している。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますかっ	?

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

Z. 事務事業の事後評価【GIRCK】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	多面的機能支払交付事業 等	成果向上余地がない	取組むことができなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
前年度評価結果が「成果向上の余	地がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			
集落協定どおりに農業生産活動が	行われたため。	集落協定どおりの農業生産活動が行われること。			

		計画相末の応拍とう後の方向は [notion]							
	((1) 事務事業の評価結果			(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策			
	大	<u></u>		0	現状維持(従来通り実施)				
E	┖				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				
相違反	首中								
B	小								
		大	中	小					
		成果向上余地							

	<u> </u>											
事務事業名 栃木県中山間地域活性化推進協議会参画事業						本年度担当課 農山村振興課						
争仍	尹禾										前年度担当課	農山村振興課
	基本目	目標	01 5	魅力な	ある。	<mark>産業で賑わう活</mark> 力]あるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政	策	02	地域資	資源	を活かしたまちつ	づくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施	策	03	中山間	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本	事業	01 !	持色 ð	ある「	中山間地域づくり)の推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会	<u>;</u> †	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	— <u>f</u>	投	06	01	03	栃木県中山間地	域活性化推進協	協議会参画事業		分	事業分類	参画事業
車:	東紫江南 第左连续八克 東紫柳門 亚代0左连							市長公約	該当なし			
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成8年度 ~									総合戦略	該当		
根拠	根拠法令・条例等 栃木県中山間地域活性化推進協議会規約											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	事物事業の現代に住 1001								
	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
$\mathbb{1}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	中山間地域を抱える栃木県の市町が、緊密な連	(市の活動)負担金の支	を払、箱	総会・	事務連絡	会議の参え	加、民間	発行の雑	誌への情
	携を図ることにより中山間地域の活性化を推進す	報掲載、県内外事例調査	】 (講)	寅会)	や、とち	まるショ	ップ出展	(アンケ	一ト実施
	ることを目的とする協議会に参画する。	等)に参加した。							
	栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、	(栃木県中山間地域活性							
	矢板市、那須塩原市、那須烏山市、茂木町、塩谷	要望活動、中山間地域P	Rグッス	ズ作成	、民間発	行の雑誌	等への記	事掲載を	行った。
	町、那須町、那珂川町の12市町で構成される。				D0 /	D4 ====		D0 + +	D7 /
		活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	<u>(目標)</u>
		イベント等の参加回数 広報誌等の発行部数		 部	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000
		広報記号の先行部数		- 印	43,000	43, 000	43, 000	43, 000	43,000
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています			Ш	J	ı	ı	ı	ı
	中山間地域	M· : /			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	中山间地域	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	栃木県中山間地域活性化推進協議会	中山間地域の人口		人	10, 324			10.000	10, 000
	WALLE CONTRACTOR	評議会の構成市町数		市町	12	12	12	12	12
		HI HWANT OF HISTORY							
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	·)						
的	地域や地域の人々と多様に関わることで中山間地	光田北 播	単位	\Box	D2左座	D4左座	DE左由	DC左曲	D7左车
	域が活性化される	成果指標	中心		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		農産物直売所・農村レ	千円	目標	ı	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800
		ストラン売上高	111	実績	46, 464	76, 242			
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	中山間地域が活性化される	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			-	\vee	110 1 72				
		農産物直売所・農村レ	千円	目標	40 404	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800
		ストラン売上高	ļ <u></u>	美領	46, 464	76, 242			
				目標					
			<u> </u>	実績					

		心于不良切几		710/									
		財源内訳	単位	R3年度(S	実績)	R4年度(実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		381		340		0		0		0
	<u> </u>	事業費計(A)	千円		381		340		0		0		0
	事業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投						負担金、補助及	び 340						
入	費												
量													
			千円										
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	件費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287	-	0		0		0
	1-5	ルコスト (A) + (B)	千円		7, 708		7, 627		0		0		0

事務事業名	栃木県中山間地域活性化推進協議会参画事業	本年度担当課	農山村振興課
尹 份 尹 未 伯		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成8年5月20日、栃木県内の中山間地域を有する17市町村(当時)が、お互いの緊密な連携を図り、中山間地域の活性化を推進することを目的とするこの協議会を設立した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	中山間地域の過疎化・高齢化は他の地域に比べ進行しており、中山間地域の主要産業であ
県などの法令等、社会情勢など)は	る農林業は担い手の減少や獣害により衰退している。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない 妥当である		削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
事務局を県内市町持ち回りで担当	成果向上余地がない						

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、農産物直売所・	コロナが5類に移行されたが、感染症の拡大状況を注視し対策に留
農村レストラン売上額の目標達成に至らなかった。	意しながら、イベントやPR活動を実施する。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					3 71	カチ木ヽ	ヤングンドン	<u> </u>			
車茲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中山間地域おこし協力隊員設置事業							本年度担当課	農山村振興課	
争的	争未石							前年度担当課	農山村振興課		
	基本目標	01 !	魅力な	ある	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ		新規・継続	継続事業	
政策	政策	02 :	地域〕	資源:	を活かしたまちて	づくり			実施計画・一般	実計計画事業	
体系	施策	03	中山門	間地均	域の活性化			事	事॑□市単独・国県補助│ 市単独事業		
	基本事業	01	特色	ある	中山間地域づくり	りの推進		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営	
科目	一般	06	02	01	中山間地域おこ	し協力隊員設置	置事業	分	事業分類	その他市民に対する事業	
車:	業計画		出	i 在 由	繰り返し		市長公約	該当なし			
尹:	未引四		#	十岁	一味り返し	事業期間	平成27年度 ~ 		総合戦略	該当	
根拠	法令・条件	<u></u> 例等	地垣	するこ	し協力隊推進要	綱(総務省)、佐	野市地域おこし協力隊員設置	要組	岡、(同)地域協力活	動事業補助金交付要領	

1	. 事務事業の現状把握【DO】													
	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標													
(①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)													
	人口減少及び高齢化が進む本市の区域において				が豊かなむらづくり全国表彰事業で農林水産大臣									
		賞を受賞。閑馬地区で制												
		物の商品共同開発。イベ												
		免許を活用し空中撮影し							PR沽動					
	生活することや地域社会に貢献することへの都市 住民のニーズに応えるとともに本市への定住を目	実施。狩猟免許を活用し	た何も	吉烏 獸	用獲沽勁	でイノン	ン3頭を	拥 獲。						
	指すものである。				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	地域おこし団体と一緒に活動する隊員を委嘱、	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		協力隊員数		人	1	1	1	1	1					
	受け報償金や補助金を支払う。	研修会参加		日	1	2	10	10	10					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています)	<u>か?) </u>												
	①地域おこし協力隊員	対象指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度					
	②中山間地域の人口	協力隊員数		1	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
	<u> </u>	<u>励力隊員数</u> 中山間地域の人口		人	10. 324	10. 072	10, 000	10.000	10. 000					
۱.					10, 02 1	10, 072	10, 000	10, 000	10,000					
E		よ状態にしたいのですか?)												
白	①協力隊員の地域資源の活用が誘客につながり、	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	施設利用者数が増える。		平世											
	9	中山間地域の施設利用	人		112, 000	90, 000	97, 300	104, 600	112, 000					
		者数		実績	37, 292	57, 506 97, 800	98. 800	00 000	100. 800					
		農産物直売所・農村レ ストラン売上高	千円	目標 実績	46, 464	76, 242	90, 000	99, 000	100, 600					
		ストノンルエ同		大帜	40, 404	10, 242								
	地域資源活用が中山間地域の活性化と隊員の退													
	任後のビジネスにつながり、市外からの移住・定	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	住の促進となる。	農産物直売所・農村レ	千円	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800					
		ストラン売上高	T [7]	実績	46, 464	76, 242								
				目標										
				実績										

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	医(実	績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0			0
		地方債	千円		0			0	0		0			0
		その他	千円		0	•••••	0			0		0		0
		一般財源 千円		3, 390			3, 304			0		0		0
	車	事業費計(A) 千円			3, 390			3, 304		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目		事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未					報償費		2, 400						
入	貝					負担金、補助	助及び	904						
量		事業費の												
		事未負の 内訳	千円											
		八八												
							·····							
						•••••							•••••	
	싰	職員従事工数	人工		1			1		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円	7, 327				7, 287		0		0		0
	トータルコスト(A)+(B) 千[千円		10, 717		1	10, 591		0		0		0

事務事業名	中山間地域おこし協力隊員設置事業	本年度担当課	農山村振興課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	少子高齢化等に伴う地域コミュニティの弱体化、地域力の低下により地域住民のみで各種活動が実施困難な場合が生じる中、地域おこし協力隊推進要綱(平成21年総務省通知)により制度が確立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	政府は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に地域おこし協力隊員を位置付け、令和6年に
県などの法令等、社会情勢など)は	8千人とする目標を定めたが、令和3年度の実績では既に隊員6,015人、1,085団体となって
事務事業の開始時期と比べてどのように	いる。今後も各地で増加していくことが考えられる。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切于未07于区时间【010011】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
成果指標の達成には至っていない	が、特産品のPRや販路拡大等の活	動を積極的に実施している。	成果向上余地がある程度ある

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 コロナの影響による外出控えの傾向が解消されず、中山間地域の 施設利用者数、農産物直売所・農村レストラン売上額ともに目標達 つある。引き続き、現隊員が受け入れ団体の「閑援隊」等と共に行 成に至らなかった。

①目標達成に向けて必要となる取組内容 コロナが5類に移行され、社会活動がコロナ前と同様に回復しつ

う中山間地域活性化活動やPR等の取り組みが、地域の魅力向上や 誘客に繋がれば成果向上(目標達成)が見込める可能性は有る。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

						カチホヽ	11/1/1/1						
車茲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	全国山村振興連盟栃木県支部参画事業								本年度担当課	農山村振興課		
す が	争未有									前年度担当課 農山村振興課			
	基本目標	01 5	魅力を	ある。	産業で賑わう活力	ウあるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業		
政策	政 策	02	地域〕	資源:	を活かしたまちて			実施計画・一般	一般事業				
体系	施策	03 1	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	01 2	持色な	ある「	中山間地域づくり	りの推進			業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	一般	06	02	01	全国山村振興連	盟栃木県支部参	多画事業		分	事業分類	参画事業		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成24年度 ~										市長公約	該当なし		
尹:	未引四		#	十段	、深り返し	争未规间	十成244克 ~ 			総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等					•						

1 事務事業の現状把握【DO】

1	. 事務事業の現状把握【DO】											
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	\$)				
	地域林業の振興と山村地域の活性化を目指した	(市の活動)負担金をす	担金を支払									
	活動を行う	(=1) 1 1 math										
		(団体の活動) 林野等に関する重要な情報及び参考資料の提供										
	│栃木県内の山村地域のある市町 │ 鹿沼市、日光市、矢板市、那須塩原市、佐野市	林野問題に関する重要な林政に関し、県、政府、国会並びに政党 等に対する建議、要望										
	大田原市、栃木市、茂木町、塩谷町、那珂川町、	サルン	の圧	我、女.	±							
	那須町の11市町で構成	エチル 挿		ж т	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		活動指標 —————		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		会議出席回数			0	0	1	1	1			
	②対象(この東政東巻け鉄・何も対象トしています	-tv 0)										
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています 栃木県内の山村地域のある市町	N' ?)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	柳木朱内の田刊地域のめる川町	対象指標	単位	(実績)	(実績)		(目標)	(目標)				
		会員数	市町	11	11	11	11	11				
的	③思凶(この事份争未によつし、刈豕をとのようは	は状態にしたいのですか?)									
	林業のさらなる発展振興 山村の地域格差、所得格差の是正を図る	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	山州の地域俗差、所待俗差の走止を図る	研修会等で得た知識を		目標	1	1	1	1	1			
		活用できる件数	件	実績	0	0						
				目標								
				実績								
4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)											
	中山間地域が活性化される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		農産農産物直売所・農		目標		97, 800			100, 800			
			千円	実績	46, 464	76, 242	30, 000	33,000	100, 000			
		11-711 / - 10-10		目標	75, 151	. 0, 2 12						
				実績								
	a) 松東業弗の推移。由記											

		やナベス・バル	_ !/	311/									
		財源内訳	単位	R3年度(乳	実績)	R4年度((実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0	0			0		0	,	
		地方債	千円		0		0	0			0		
		その他	千円		0	0		0			0		0
		一般財源	千円		40		40		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		40		40		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
招	ずり					負担金、補助及	び 40						
J	早												
튤	1	事業費の											
		中未負の内訳	千円										
		7664											
	从	職員従事工数	人工		1		1		0	0		0	
	費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0	0		0 0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円	7, 367			7, 327		0		0		0

事務事業名	全国山村振興連盟栃木県支部参画事業	本年度担当課	農山村振興課
争伤争未 有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成23年度までは栃木県市町村林野振興対策協議会参画事業 ※平成24年度以降は全国山村振興連盟栃木県支部(昭和42年4月設立)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	地球温暖化、環境税導入等で森林の持つ公益的機能が大きな役割を果たしていることが知れてきて、森林整備の重要性が注目されている。
2120 00 00 00	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外					
- 1							

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
前年度評価結果が「成果向上の余	*地がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				
コロナ対応のため、研修会等に参	≸加することができなかった。	研修会に参加できない場合でも、会員向け機関誌の情報から得た知				
		識の活用等を意識していく。				

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

					 1	カチホヽ	1777	· /			
車級	車業タ	「佐野暮らし」のすすめ推進事業						本年度担当課	農山村振興課		
争仍	事務事業名					前年度担当課	農山村振興課				
	基本目標	01	魅力	ある	<mark>産業で賑わう活</mark> 力]あるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域	資源で きゅうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	03	中山門	間地均	或の活性化				事	市単独・国県補助	助 国県補助事業
	基本事業	01	特色	ある「	中山間地域づくり	りの推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	ХХ	XX	хх	「佐野暮らし」	のすすめ推進署	事業		分	事業分類	支援事業
東米基南 期間内党物大安 東米期間 亚代00万安 入和6					令和6年度		市長公約	該当なし			
尹之	事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成22年度 ~ 令和6年度								総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条	例等	[/]	ヽさな	拠点」づくり促	進事業実施要終	岡、同事業補助金3	を付要領、さ <i>0</i>)暮	らしサポート事業	補助金交付要綱

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

((1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
(①手	段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	[<u> </u>	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	う 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
		田舎暮らしを推進するために、中山間地域の活	本事業の活用はなかった	ニが、□	中山間:	引地域の活性化に向けた活動をする団体が、県					
		生化は必須であるため、中山間地域の団体が	事業であるNPOの支援を	受けな	がら地	域活性化	この課題に	向けた耶	収り組みを	行った	
	3	尾施する地域コミュニティの再生等の地域課題	0								
	角	ឱ決に向けた取り組みに対し支援する。									
	١,										
		※ 中山間地域の団体とは、地域おこし団体(む こべく!! 男体)				DO左击	DA左击	DC左曲	DC左击	D7左由	
	۱,	らづくり団体)	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度	R6年度	R7年度	
			研修会等参加		回	<u>(夫祖)</u> ()	(美祖)	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> -	
			イベント出店回数			0	0	1	1	_	
			1 2 1 H/L L M				·				
	(②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています	か?)	<u> </u>							
	(①田舎暮らしに興味・関心のある人	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	(②中山間地域の住民団体			中四	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
			むらづくり団体		団体	8	8	9	9	_	
E	ⅎ├										
台	ηĽ	③意図(この事務事業によって、対象をどのような ○中は関地はの自ささな。 でもこと、 発信しても	状態にしたいのですか?	')							
	· ·	D中山間地域の良さを知ってもらい、移住しても らう。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	(②中山間地域の課題解決に向けた取り組みが行わ	中山間地域への移住者	人	目標	-	150	150	150	150	
	1	າる。	数		実績	103	133				
			問題解決に向け話し合	団体	目標	_	1	1	1	1	
	2 (1		いを行った集落数		実績	0	0				
(4	<u>۔۔۔</u>	ま果(どのような結果に結びつけますか?) 									
		中山間地域が活性化される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			活性化に向けて補助を	団体	目標	1	2	2	2	2	
			活用した団体数累計	四件	実績	1	1				
			中山間地域の人口	人	目標	-	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	
					実績	10, 324	10, 072				

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	考費	事業毒の											
入	貝												
量													
			千円										
		四部人											
	슸	職員従事工数	人工		0		0		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		0		0		0		0
	トータ	ルコスト (A) + (B)	千円		0		0		0		0		0

ſ	事務事業名	「佐野暮らし」のすすめ推進事業	本年度担当課	農山村振興課
	争伤争未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	佐野市では平成2年をピークに人口が減少し、特に中山間地域ではその傾向が強い。中山間地域ではむらづくり活動が活発に行われてきたが、平成22年、市長のマニフェストに中山間地域の活性化と定住化を目指す「佐野暮らしのすすめ」が掲げられ本事業が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	国全体が人口減少局面に入り、特に地方の中山間地域での減少率が高く、また、高齢化率
県などの法令等、社会情勢など)は	も進行している。国は「地方創生」を掲げ、東京一極集中の是正のため、地方の特色を生か
事務事業の開始時期と比べてどのように	した各種施策を推進するよう働きかけがある。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

-	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
ı		現状維持により対象外
-		SUMMED TO THE STATE OF THE STAT
١		
١		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	小さな拠点づくり推進事業等、政 策調整課所管事業		向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
本事業の活用には至らなかったが 0の支援受けながら地域活性化の記	成果向上余地がない		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナ禍のため各集落とも話し合いの機会が減少しており、中山	中山間地域の活性化に向けた活動をする団体に対し、事業活用に
間地域への移住者(転入者)数、問題解決に向け話し合った中山間	ついての説明を行い取組団体の発掘をする。
地域の集落数ともに目標を達成できなかった。	

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小			0		
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

					3 71	为于木飞	ヤングン		1			
車数	山村振興対策事業調査事務						農山村振興課					
争狄	事務事業名							前年度担当課	農山村振興課			
	基本目標	01	魅力	ある	産業で賑わう活力	りあるまちづく	IJ			新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	地域	資源:	を活かしたまちて	づくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	03	中山門	間地均	域の活性化				事	市単独・国県補助市単独事業		
	基本事業	01	特色	ある	中山間地域づくり	りの推進			業	任意・義務	義務的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	хх	XX	хх	山村振興対策事	業調査事務			分	事業分類	検査・調査事務	
車:	事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成21年度 ~ 令和6年度							市長公約	該当なし			
事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成21年度 ~ 令和6年度								総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等 山村振興法											

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	- 事務事業の現状把握【DO】								
(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)								
	平成20年度に策定した山村振興計画の参考資料	栃木県より依頼のあっ	った振り	興山村	こおける	調査を実	施した。		
	に記載された事業の各年度の実績及び財源内訳の	(調査対象:令和3年原)						
	調査を事業実施機関に対し行い、国に報告する。	※令和4年度の実績に	は令和	5 年度	に調査す	る。			
	国は、この結果を集計し、山村振興対策の資料								
	とする。								
	※ 現在は第五期対策期間				DO左击	DA左击	DC左击	DC左击	D7左由
		活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
		 期間中の概算事業量		百万円	<u>(実績)</u> 6,817	<u>(実績)</u> 6,817	<u>(目標)</u> 6,817	<u>(目標)</u> 6,817	(目標)
		期間中の概算事業里期間中の事業実施機関の		団体	20	20	20	20	_
		期間中の施策区分	7 553	区分	10	10	10	10	_
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています			<u> </u>	10	10	10	10	
	各実施機関の山村振興対策事業の実施状況				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		実施された施策区分		区分	5	6	7	7	_
目									
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
нэ	事業の実施状況を国が把握する 	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		実施状況の報告回数	回	目標	1	1	1	1	-
			Ш	実績	1	1			
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	中山間地域が活性化される 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		農産物直売所・農村レ	千円	目標	_	97, 800	98, 800	99, 800	100, 800
		ストラン売上高	T [7]	実績	46, 464	76, 242			
				目標					
				実績					
1	2) 松東業费の堆段・内記								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)		
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0		
		県支出金	千円		0		0		0		0		0		
		地方債	千円		0		0		0		0	0			
		その他	千円		0		0		0		0				
		一般財源	千円		0		0		0		0				
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0		
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
投	業費	事業費の 内訳													
入	貝														
量															
			千円			•••••									
						•••••									
	人	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0		
	件	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0		
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0		

ſ	事務事業名	山村振興対策事業調査事務	本年度担当課	農山村振興課
	争伤争未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成20年度に第五期山村振興計画を策定したことから、平成21年度より実施状況調査が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国 県などの法令等、社会情勢など)は	・ 山村振興地域では他の地域以上に高齢化、過疎化が進行していて活力がなくなっている。 一方で、環境、教育、健康の分野で山村地域の価値や資源が見直されている。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか	?

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
	現状維持により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない			取組むことができなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
前年度評価結果が「成果向上の余地がない」のため取組実績なし 成果向上余地がない							
② 4 主のよ田お畑の口畑 12 生土	金口無法 さいさいて	ソエレシスを担告点					

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
引き続き、各実施機関と連携し事務を行う。

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		